

今年こそ！

夢洲でコアジサシ誘導計画動き出す

写真

夢洲生きもの調査グループ
加賀まゆみ(夢洲生きもの調査グループ・理事)

図-1 2021年1月土砂埋め立てで狭くなった池に今年もツクシガモがたくさん飛来していた。
関西で100羽以上の飛来はめずらしい

昨年11月初め、大阪港湾局から突然の電話。私たちの調査行動に問題があったのか、あるいはまた新しい規制の通達か、と緊張したが、その電話の内容は、「来年のコアジサシの繁殖エリア確保についてご相談したいので、一度会合を」という提案であった。

「都市と自然」(520号、521号、522号)で報告しているように、昨年のゴールデンウィーク中にコアジサシの繁殖行動を確認したが、連休明けの工事再開後にはコアジサシがいなくななり、その後大阪港湾局、大阪府・大阪市IR推進局とともに交渉を重ね、7月17日、夢洲現地合同視察で「次年度はコアジサシ繁殖エリア確保にできるだけ努力する」という約束を取り付けている。

ところが11月1日の大阪市廃止特別区設置の住民投票結果を待たずには、大阪市港湾局は大阪府市合同の「大阪港湾局」に組織が変わっていたので、その新しい組織が協力の口約束を継続してくれるのか、私はかなり不安に思っていた。そこにこの電話で、「来年のためには今年中に計画を決めないならないので」と連絡していただけたことに、まずは大変感動し、そして私たちの訴えをきちんと受け止めてくれていることに感謝した。

コアジサシの繁殖には、おおむね10ヘクタール必要と言われている。それだけの広さが必要とされるのは、巨大なコロニーをつくることで初めて、カラスや猛禽類といった捕食者に集団で対抗して繁殖の成功率

を上げられるからである。せっかく繁殖エリアを確保しても、その狭さゆえ結局コロニーはできなかつた、ということになつては、中途半端に投じた手間と予算がもったいない。これ以上無理というくらいきちんと準備して、集団繁殖が成功したら、世界に誇れる大阪の万博のレガシーになる。しかし、万端の準備をしても繁殖は失敗するかもしれない。それでもできる限りの努力をしたことは、夢洲の歴史に刻まれる、と私たちは力説した。

また、面積が確保されても、昨年のように簡単に水没してしまう土地では困る。私たちは面積だけでなく、周囲のエリアとの高低差や、砂礫面の形状や色目についても細かく要望し、この日は結論がはず、港湾局側の持ち帰りとなつた。

工事計画の大幅な変更は多数の関係者の予定を狂わすことになる。こちらの要望は難しいかもしれない、と危惧していたが、2週間ほどのち送られてきた変更案は、誘導エリアの地点を変え、かなりの面積を確保するものとなつていた。誘導場所は昨年の夏の水没エリアで、まだ半分湿地状の場所であったが、広さは十分あり、水没対策についても排水設備の設置や砂利を積むことなどが計画

されていた。私たちは、その変更案での実施に合意した。

誘導エリアのまわりの防鳥エリア部分の表面には緑の塗料を吹き付けるなど、その方法の効果については不安に思う部分もあるが、4月中旬までに形にしないとなれば、あまり時間はない。1月初旬現在、すでに3区IR計画地周辺の道は工事のために入場ができなくなつておらず、実際にどのあたりが誘導地区になるのか、高低差は大丈夫なのか、など、心配は尽きないが、絶滅危惧の渡り鳥を守るために私たちの小さな働きかけが、こうして行政を動かし、保護につながりはじめた、ということは、大きな一歩だと思う。

この一步は、記事に取り上げてくれた毎日新聞やケーブルテレビなどの情報番組、社会問題のインターネット署名サイトや署名してくださつた世界中のみなさんなど、さまざま応援があつたからこそ踏み出せた一步だ。取り合えずは今年1年だけの、工事中の場所の繁殖地確保活動ではある。が、まずは今年の繁殖を成功させることで、次につなげていく足掛かりにしたい。

夢洲2区の塩性湿地には、この冬



図-2 2020年11月17日大阪港湾局との検討会議風景



図-3 2021年1月ホシハジロは軽く1,000羽を超えていた

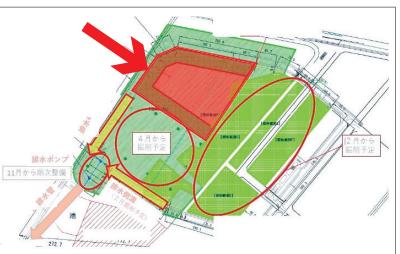


図-4 12月に再提案され広くなった
夢洲コアジサシ誘導エリア(赤)

もホシハジロやツクシガモなど20種近くの水鳥が羽を休めている。その数1,000羽を超える。野生生物からこの場所を奪ってはならないと強く思う。コロナ禍で集客イベント開催の在りようも含め、「いのち輝く」というテーマを掲げた国際博覧会開催会場という、世界からも注目される人工島「夢洲」。こここの自然創生&保護活動の未来は決して暗くはない、と素直に希望を持ちたい。

※今までの経緯は、
「協会ホームページ→自然保護運動
→夢洲の未来の自然環境を考える」
から全部見ることができます。
<http://www.nature.or.jp/action/yumeshimamirai/>

※夢洲調査グループに加わって、活動を支えてくださるメンバーを募集しています。 office@nature.or.jp にご連絡ください。